

ケアマネジャーのお仕事サポート

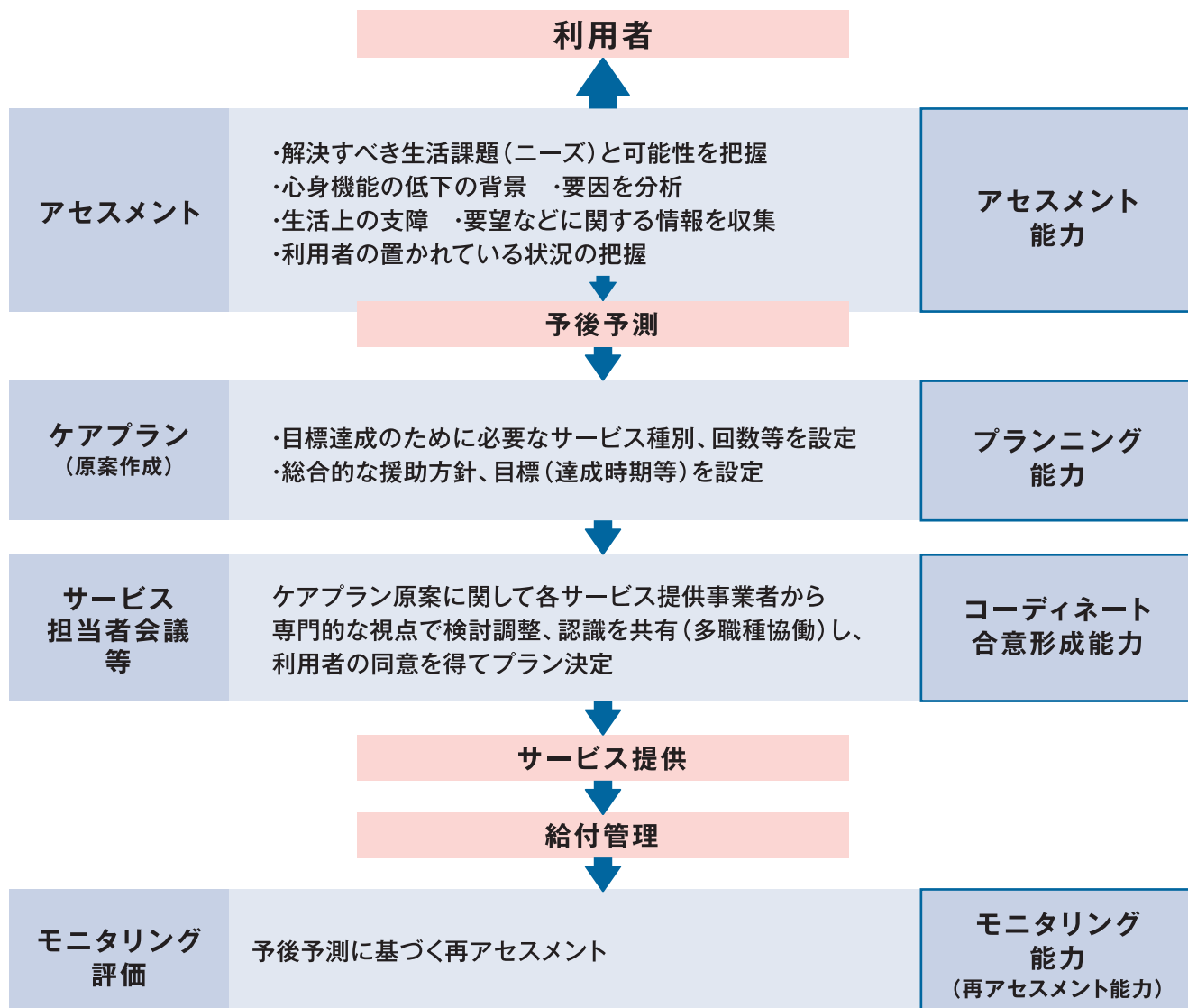
テーマ

国が推進する「適切なケアマネジメント手法」を活用してみよう

これまでの実践とは何も変わりません!!

適切なケアマネジメント手法(以下、適ケア)を活用すると、いままでの実践とどう変わるのと質問を受けます。基本的には、これまでのケアマネジメントプロセス(図1)の実践とは何かが大きく変わることはありません。

図1 ケアマネジメントプロセス



また、運営基準で定められている課題分析標準項目(23項目)(図2)も変わりません。

図2 課題分析標準項目(23項目)

■基本情報に関する項目

No.	標準項目名	項目の主な内容(例)
1	基本情報 (受付、利用者等基本情報)	居宅サービス計画作成についての利用者受付情報(受付日時、受付対応者、受付方法等)、利用者の基本情報(氏名、性別、生年月日、住所、電話番号等の連絡先)、利用者以外の家族等の基本情報について記載する項目
2	生活状況	利用者の現在の生活状況、生活歴等について記載する項目
3	利用者の被保険者情報	利用者の被保険者情報(介護保険、医療保険、生活保護、身体障害者手帳の有無等)について記載する項目
4	現在利用しているサービスの状況	介護保険給付の内外を問わず、利用者が現在受けているサービスの状況について記載する項目
5	障害老人の日常生活自立度	障害老人の日常生活自立度について記載する項目
6	認知症である老人の日常生活自立度	認知症である老人の日常生活自立度について記載する項目
7	主訴	利用者及びその家族の主訴や要望について記載する項目
8	認定情報	利用者の認定結果(要介護状態区分、審査会の意見、支給限度額等)について記載する項目
9	課題分析(アセスメント)理由	当該課題分析(アセスメント)の理由(初回、定期、退院退所時等)について記載する項目

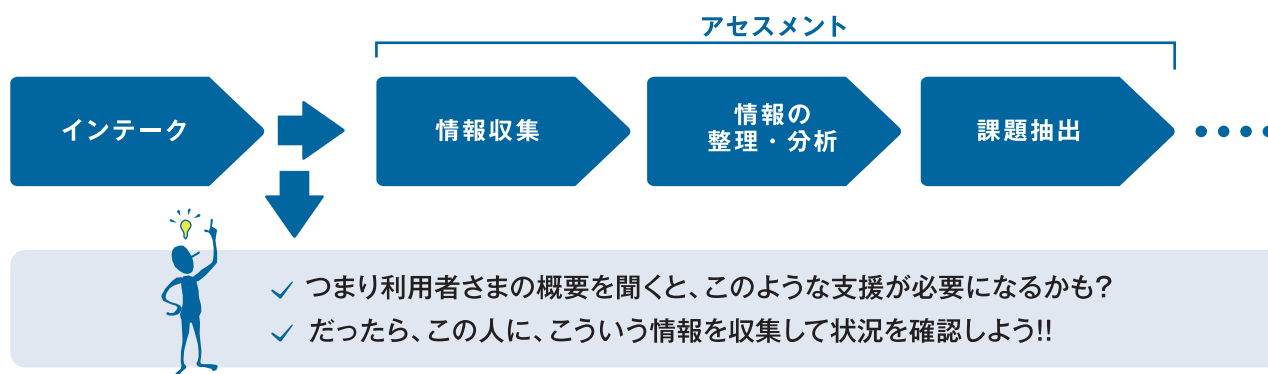
■課題分析(アセスメント)に関する項目

No.	標準項目名	項目の主な内容(例)
10	健康状態	利用者の健康状態(既往歴、主傷病、症状、痛み等)について記載する項目
11	ADL	ADL(寝返り、起きあがり、移乗、歩行、着衣、入浴、排泄等)に関する項目
12	IADL	IADL(調理、掃除、買物、金銭管理、服薬状況等)に関する項目
13	認知	日常の意思決定を行うための認知能力の程度に関する項目
14	コミュニケーション能力	意思の伝達、視力、聴力等のコミュニケーションに関する項目
15	社会との関わり	社会との関わり(社会的活動への参加意欲、社会との関わりの変化、喪失感や孤独感等)に関する項目
16	排尿・排便	失禁の状況、排尿排泄後の後始末、コントロール方法、頻度などに関する項目
17	じょく瘡・皮膚の問題	じょく瘡の程度、皮膚の清潔状況等に関する項目
18	口腔衛生	歯・口腔内の状態や口腔衛生に関する項目
19	食事摂取	食事摂取(栄養、食事回数、水分量等)に関する項目
20	問題行動	問題行動(暴言暴行、徘徊、介護の抵抗、収集癖、火の不始末、不潔行為、異食行動等)に関する項目
21	介護力	利用者の介護力(介護者の有無、介護者の介護意思、介護負担、主な介護者に関する情報等)に関する項目
22	居住環境	住宅改修の必要性、危険箇所等の現在の居住環境について記載する項目
23	特別な状況	特別な状況(虐待、ターミナルケア等)に関する項目

【出典】平成11年11月12日老企29号厚生省老人保健福祉局企画課長通知「介護サービス計画書の様式及び課題分析標準項目の提示について」

適切なケアマネジメント手法は **ベテランのケアマネジャーがやっていること**

知識と経験豊富なベテランのケアマネジャーは、網羅的な情報収集に手を付ける前に、限られた概要情報から、「どのような支援が必要な可能性があるか」、「どのようなことを詳しく確認する必要があるか」について、「あたり」をつけている。



自分の事例で【個人ワーク】をやってみましょう。

自分が担当するどの事例を選んでも構いません。どのような支援の可能性、それに紐づく情報収集の可能性をどのように考えますか?「適ケア」から導きましょう。



始める前に動画の「自己点検」を視聴することをおすすめします。



まずは、「自己点検シート」を使って

(1) ケアプラン作成時点の判断 (2) 現在(項目を見た後)の判断をチェックしてください。

自己点検シート案(基本ケア)

「適切なケアマネジメント手法」基本ケアの項目				事前調		
想定される支援内容				(1) ケアプラン作成時点の判断		
基本方針	大項目	中項目	想定される支援内容	①情報収集	②支援の必要性の判断	③ケアプランへの支援の位置づけ
I 尊厳を重視した意思決定の支援	I-1 現在の全体像の把握と生活上の将来予測、備え	I-1-1 疾病や心身状態の理解	1 疾患管理の理解の支援	○: 情報収集を行った ×: 情報収集を行っていない ⇒全員〔設問②ハ〕	○: 支援が必要だと判断した ⇒〔設問④ハ〕 ×: 支援は不要だと判断した ⇒〔設問④ハ〕 ▲: 検討しなかった ⇒〔設問④ハ〕	○: ケアプランに支援を位置付けた ×: ケアプランに支援を位置付けなかった ▲: 検討しなかった ⇒全員〔設問④ハ〕
			2 併存疾患の把握の支援			
			3 口腔内の異常の早期発見と歯科受診機会の確保			
			4 転倒・骨折のリスクや経緯の確認			

自己点検シートに回答してください。

1. ケアプラン作成時点の判断

- ① 情報収集
この項目に関して、ケアプランを作成した際のアセスメントで**情報収集を行ったか**をご回答ください。
- ② 支援の必要性の判断
この項目に関して、ケアプランの作成の際に**支援が必要だと判断したかどうか**をご回答ください。
- ③ 支援の位置づけ
この項目に関して、ケアプランに**支援を位置付けたかどうか**をご回答ください。

2. 現在の判断

- ④ 現時点での支援の必要性
この項目に関して、現時点での**支援の必要性**についてご回答ください。
- ⑤ 支援内容の見直しの必要性
この項目に関して、支援内容の見直しの必要性について、見直しの方向性(追加、縮小)も含めてご回答ください。
- ⑥ 追加すべき支援内容
この項目に関して、追加が必要と思われる支援内容を具体的にご回答ください。
- ⑦ 縮小すべき支援内容
この項目に関して、縮小が必要と思われる支援内容を具体的にご回答ください。

手順

- 1 QRコードを読み込み以下の資料を準備してください。

「適切なケアマネジメント手法」に関連する事業まとめ

<https://www.jri.co.jp/service/special/content11/corner113/caremanagement/>

適切なケアマネジメント手法に関連する事業や研修等の情報を
特設サイト(日本総研ウェブサイト)に掲載しています。
地域や事業所内での研修等や自己学習にご活用ください。



「適切なケアマネジメント手法」に関連する事業まとめ

- 「適切なケアマネジメント手法実践研修」に関連する資料等
- 実践研修で使用する「適切なケアマネジメント手法」の資料

実践研修で使用する「適切なケアマネジメント手法」(基本ケア)の資料をぜひご活用ください。

- 基本ケア概要版(項目一覧)(PDF)
- 基本ケア概要版(項目一覧)冊子版(PDF)
- 「適切なケアマネジメント手法」自己点検シート案(基本ケア)(Excel)



- 2 実践研修に関連する動画

適切なケアマネジメント手法実践研修関連動画

自己点検とは「想定される支援内容」の視点の抜け漏れがないかを確認するものです。



つづく



執筆者

木村 隆次

きむらりゅうじ

薬剤師

介護支援専門員

介護支援専門員指導者一期生

医療・介護連携協働をライフワークに活動中。大学卒業後、製薬会社のMRとして勤務した後、青森市内で薬局を開局。薬剤師として居宅訪問をしていた際、福祉用具と住宅改修に興味をもち没頭。介護支援専門員指導者の一期生。2000年4月から13年間日本薬剤師会常務理事、2010年から2022年まで青森県薬剤師会会長を務めた。2005年11月から日本介護支援専門員協会会長(初代)として厚生労働大臣の諮問機関で介護報酬や介護保険制度を議論する分科会・部会の委員を歴任。現在は、青森県介護支援専門員協会会長として自立支援型ケアマネジメントの普及のため後進へ情報発信し育成に努めている。